

2022年4月21日

各 位

株式会社大和証券グループ本社  
大和証券株式会社  
大和アセットマネジメント株式会社

**ベンチャーキャピタル・ファンドを投資対象とする公募投資信託  
「ダイワ・WiL3号ベンチャーキャピタル・ファンド」の取り扱い開始について**

このたび、大和証券株式会社は、日米の未公開株式に投資するベンチャーキャピタル・ファンドを実質的な投資対象とする公募投資信託「ダイワ・WiL3号ベンチャーキャピタル・ファンド」（以下「当ファンド」）の取り扱いを開始します。購入の申込期間は、2022年5月9日から27日までとなります。

当ファンドが実質的な投資対象とするベンチャーキャピタル・ファンド「WiL Ventures III, L.P.」\*1は、日本と米国に拠点を持つ日本有数の独立系運用会社であるWiL, LLC（以下「WiL」）が運用するグローバルベンチャーキャピタル・ファンドです。WiLは日米を中心としたベンチャー企業への出資及び事業支援を行っており、国内有数の大手企業とのパートナーシップ並びに日米の強固なネットワークを持つ強みを活かし、国内だけでなく世界市場へ挑戦するベンチャー企業を支援しております。WiLは2013年に設立され、2021年12月末時点の運用総資産残高は約19.7億米ドル（約2,265億円）\*2となっています。当ファンドの管理会社代行サービス会社は大和アセットマネジメント株式会社、投資運用会社はダイワ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドとなります。

大和証券グループでは、2021年度からスタートした中期経営計画「“Passion for the Best” 2023」において、事業戦略として「ハイブリッド戦略による新たな資金循環の確立」を掲げると共に、ハイブリッド戦略で拡大した事業領域のアセットを金融商品化し、多様化したお客様ニーズに最適な商品・サービス・ソリューションを提供することで、資産管理型ビジネスとハイブリッド戦略の融合を図っています。

当ファンドの設定は、資産管理型ビジネスとハイブリッド戦略の融合に沿った取組みとして、投資機会が限られたベンチャーキャピタル・ファンドを投資対象とする商品を開発し、幅広いお客様にオルタナティブ資産への新たな投資機会を提供するものです。

大和証券グループは、今後も「金融・資本市場のパイオニア」として、オルタナティブ商品の開発を通じてお客様の多様な投資ニーズに応えることで、社会に対して新たな価値を提供していきます。

\*1 当ファンド名称の一部である「WiL3号ベンチャーキャピタル」は「WiL Ventures III, L.P.」を表しています

\*2 1米ドル=115.02円（2021年12月末時点の為替レートのTTM）で換算しています

以 上

# 投資リスク

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

## 基準価額の変動要因

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。また、ファンドの基準価額は米ドル建てで算出されるため、当該通貨建てでは投資元本を割り込んでいない場合でも、為替変動により、円換算ベースでは投資元本を割り込むことによる損失を被ることがあります。したがって投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。ファンドは、SPV債券を通じて、その財産を主として投資対象ファンドに投資します。このため、ファンドへの投資には、投資対象ファンドにおけるリスクも伴います。

基準価額の主な変動要因については次のとおりです。※変動要因は下記に限定されるものではありません。

●価格変動リスク ●流動性リスク ●為替変動リスク ●カントリー・リスク ●集中投資リスク ●その他（解約申込みに伴うリスク等）  
これらの詳細につきましては、投資信託説明書（請求目論見書）の該当箇所をご参照ください。

## ファンドの実質的な投資対象である投資対象ファンドに固有の留意点

ファンドがSPV債券を通じて行う投資対象ファンドへの出資については、通貨価格の変動、金融商品市場における株価の変動、未上場株式その他の有価証券等の価値や評価額の変動、市場金利の変動等による投資先企業の業績の悪化により、投資対象ファンドの投資収益に悪影響が及び、出資に損失が生じるおそれがあります。投資対象ファンド持分の流通市場は現在確立されておらず、投資対象ファンドのリミテッド・パートナーとしての地位の流動性は何ら保証されるものではありません。

投資対象ファンドは、投資経験の豊富な投資家向けのファンドです。投資対象ファンドへの出資ならびに投資対象ファンドの投資目的および投資戦略は、様々なリスクを内包しており、当該リスクを原因として元本欠損が生じるおそれがあります。実質的に投資対象ファンドに出資するファンドへの投資にあたっては、投資者の責任において、投資対象ファンドへの出資に伴う様々なリスク等を十分に理解された上で、投資の判断および決定を行っていただくようお願いいたします。

# ファンドの費用

当ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。（消費税率10%の場合）

※くわしくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

※大和証券でお申込みの場合

## ◆お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料	購入は、口数でのみお申込みいただけます。 購入時手数料の額は、購入金額の3.3%（税込） 購入時手数料は、購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価として日本における販売会社に支払われます。 詳しくは日本における販売会社にお問い合わせください。
換金(買戻し)手数料	ありません。

## ◆お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

実質的な費用	投資対象ファンドの持分で発生する費用を含めた、ファンドの資産から支払われる実質的な費用は、原則として、純資産総額の年率3.755%程度以内 <sup>※1</sup> を上限とします。 ※1 有価証券届出書提出日現在、今後この数値は見直される場合があります。 (注1) 投資対象ファンドの元本を上回る収益に対して20%の成功報酬が課されることがあります。 (注2) 投資対象ファンドの組入比率が低下した場合、純資産総額に対する実質的な費用は下回ることがあります。 (注3) 投資対象ファンドの費用はキャピタル・コミットメントに対して課されるため、純資産総額によっては上回ることも下回ることもあります。 (注4) 保管会社報酬に最低報酬金額が設定されているため、純資産総額によっては上回ることもあります。 (注5) SPV債券の費用は想定元本に対して課されるため、純資産総額によっては上回ることも下回ることもあります。
管理報酬等	ファンドの資産から支払われる管理報酬等の総報酬は、次の通りです。 原則として、純資産総額の年率1.405%程度以内 <sup>※1</sup> を上限とします。 ※1 有価証券届出書提出日現在、今後この数値は見直される場合があります。 (注) 保管会社報酬に最低報酬金額が設定されているため、純資産総額によっては上回ることもあります。
SPV債券	SPV債券の想定元本に対して、年率0.35%程度 <sup>※2</sup> ※2 追加でSPV債券の税制調査費が発生することがあります。
投資対象ファンドの持分	投資対象ファンドのキャピタル・コミットメントに対して、年率2.0%（6年目以降は毎年0.25%ずつ減しますが、年率1.5%は下回りません。） および投資対象ファンドの元本を上回る収益に対して20%の成功報酬
その他の費用・手数料	上記の報酬のほか、設立費用、監査報酬、目論見書の印刷費用、信託財産の処理に関する費用、設定後の法務関連費用、信託財産にかかる租税等がファンドの信託財産から支弁されます。「その他の費用」につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。これらの詳細につきましては、投資信託説明書（請求目論見書）の該当箇所をご参照ください。

お申込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

「投資信託説明書(交付目論見書)」のご請求・お申込みは…

**大和証券**  
Daiwa Securities

〈販売会社〉  
商号等 大和証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号  
加入協会 日本証券業協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人金融先物取引業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会  
一般社団法人日本STO協会

管理会社:  
クレディスイス・マネジメント(ケイマン)リミテッド  
管理会社代行サービス会社:  
商号等 大和アセット・マネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会